

石川県「被災家屋活用推進タスクフォース」で進める被災家屋の修繕・利活用に向けた取り組み

- 公費解体だけでなく修繕・利活用の選択肢を考えられるよう、**県は12月補正予算で相談窓口や調査活動を支援**
- 併せて、関係団体が密に連携できるよう、**県主催で12月より「被災家屋活用推進タスクフォース」会合を隔週開催**
- 現在、参加団体による積極的な取り組みが生まれており、県は、活動の円滑な実施に必要な諸調整を担当

石川県「被災家屋活用推進タスクフォース」会合（隔週で開催中）

県、関係市町

古民家再生協会
能登復興建築人会議

不動産業者
(賃貸住宅等)

民泊・分散型
ホテル等の事業者

金融機関
(投資ファンド)

など

これまでに生まれた各種取り組み

○建物所有者からの個別相談に応じ、**現地調査を実施**
(12月～) 【全国古民家再生協会】



※詳細 2 スライド目

○建物所有者や地域団体向けセミナー
(3/29、4/13 @NOTOMORI) 【Airbnb】

復興に資する被災家屋活用セミナーシリーズ第2回
2025年4月13日(日) 11:00 - 12:30
NOTOMORI ノトモリ - のと里山空港仮設飲食店街
※セミナー第3回目は、5月中旬に開催予定

能登の復興とまちづくりに繋げる被災家屋の修繕と再活用セミナー

被災家屋・古民家の価値を中心とした勉強会です。
古民家や木造建築に造詣の深い建築家や、空き家を活用したまちづくりを学びながら復興に資する被災家屋活用と地域づくりについて一緒に考えましょう。

SUN DAY 13 April 2025
会場: NOTOMORI (能登空港内)
開催日: 2025年4月13日(日)
時間: 11:00 ~ 12:30 (予定)

○民泊施設等としての活用を
考えたい事業者向けセミナー
(3/30 @東京国際フォーラム)
【全国古民家再生協会】



○「集落まるごと」の利活用プロジェクトを考えたい事業者向け視察ツアー
(3月調査開始) 【能登復興建築人会議】



※詳細 3 スライド目

創造的復興推進課
076(225)1984

建物所有者からの個別相談対応と現地調査活動（県補助事業）

- 全国古民家再生協会を中心とする活動として、「**自宅や空き家の修繕や、他者による利活用ができないか**」という**所有者からの個別相談に無料で応じる窓口を12月より開設中**（これまでの相談件数は400件に迫る）
- 所有者のご意向に応じて、①現地に赴いての**修繕可能性調査と修繕方法の提示**、②見積がとれる**修繕業者の紹介**、③**民泊施設や賃貸住宅といった活用方法や活用事業者の紹介**などを実施している

○相談・調査実績（R6.12.14～R7.4.18）

<相談窓口での相談件数：392件>

相談内容	
修繕して自ら住みたい	203件
他者に修繕して活用してほしい	127件
相談しながら可能性を考えたい	52件
その他（古材利用等）	10件



<現地調査 実施済件数：190件>

調査結果を踏まえた判断の状況	
居住のための 見積を依頼中	18件
他者活用 に向けて情報サイト「古民家住まいる」※に掲載	50件
今後 活用方法を検討 ・相談	113件
所有者が 解体 を決定	6件
修繕不可能	3件

※情報サイト「古民家住まいる」
(R7.2.5より掲載開始)

能登復興支援プロジェクトページ




※ **57件掲載**
(うち7件は現地調査前)

被災家屋の活用に向けた事業者からの問合せは、現在十数件

「集落まるごと」のプロジェクト化を考える物件群調査・視察ツアー（休眠預金活用事業）

- 能登復興建築人会議では、休眠預金による支援制度を活用し、**集落単位で、修繕と利活用をすべき物件群を見い出す調査に加え、調査した地域への活用事業者の視察ツアー**にも着手（調査件数：約1,200件）
- 全国古民家再生協会に集まる個別相談案件と、能登復興建築人会議が調査する物件群の情報を組み合わせ、**集落単位の分散型ホテル等としての投資可能性調査**（事業者の現地視察等）に迅速につなげることが重要

○集落まるごと調査の様子



集落調査で収集した情報を建物だけでなく周辺環境も含めてスケッチに落とし、活用方途を考える材料に

○これまで実施した調査範囲

＜能登町全域：約900件＞



＜輪島市の一部地域：約300件＞



○調査結果に基づく、有望物件群の視察ツアー

＜第1回開催：4月13日（日）＞

- ・視察箇所
輪島市三井地区、能登町黒川地区・小木地区
- ・視察参加者：18名
ホテル等としての活用を検討したい県外事業者6名、
県内事業者2名、研究者2名、建築人会議5名、石川県庁3名

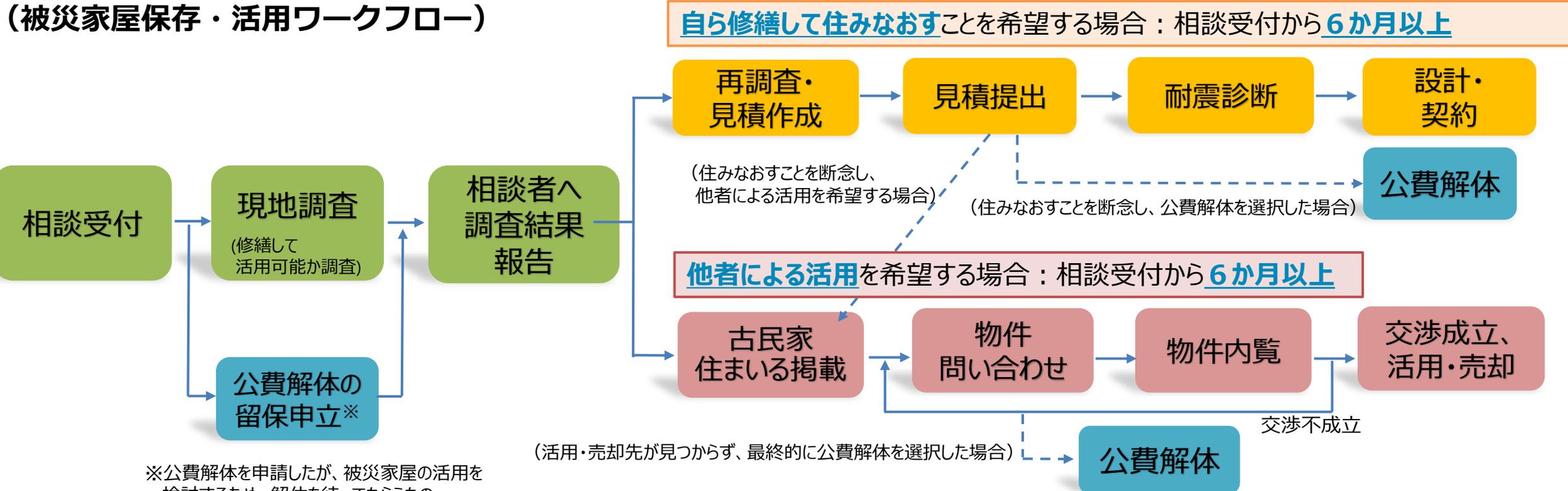


視察の様子（例：能登町黒川地区）

「公費解体の留保」と、被災家屋の修繕・利活用の流れ

- 個別相談の受付と現地調査から、修繕や活用・売却等の契約までで、半年から1年程度の時間はかかる
 - 公費解体申請済の物件であっても、市町に「解体の留保」を申し出ていただければ、所有者は焦ることなく、時間をかけて納得のいく修繕・利活用の検討をしていただける
- ⇒県としては、市町に寄せられた留保物件は、**県の公費解体完了目標（10月末）の「枠外」**で管理する。
最終的に「やはり解体したい」との判断に至っても、問題なく公費解体はできるため、安心いただきたい

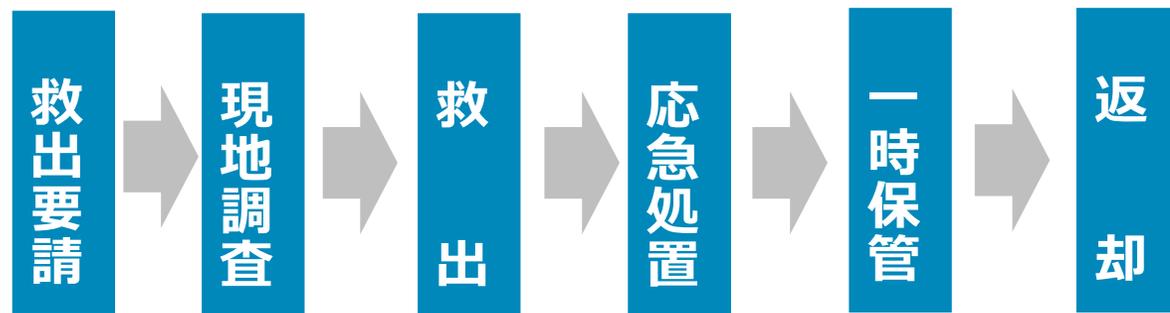
（被災家屋保存・活用ワークフロー）



文化財レスキューの活動状況

- 国立文化財機構文化財防災センターが主体となり、**被災した家屋等に取り残された仏像、美術品などを救出し、一時保管する「文化財レスキュー」を実施**
- 国立美術館や国立科学博物館などに加え、県、市町、県立歴史博物館や県・市町の博物館の職員等を含む、**延べ2,970人**のレスキュー隊が古文書や美術工芸品等**174件（県指定有形文化財上時国家文書など）を救出**（R7.4.18現在）
→**東日本大震災（86件）、熊本地震（47件）を大きく上回る件数**

<活動の流れ> ・活動開始 令和6年2月13日



救出の様子

救出した文化財を活用し、**被災地の歴史や文化を紹介する特別展を開催**

夏季特別展「未来へつなぐ—能登半島地震とレスキュー文化財—」

期間：令和7年7月26日～8月31日 場所：県立歴史博物館

文化財課 076(225)1841
文化振興課 076(225)1371

小松・香港便の運航再開および団体ツアーの開始等



○小松・香港便が、本日(4月24日) 運航再開

→ コロナ前の小松空港と運航していた国際線のソウル・上海・台北・香港の全4路線が再開

○初便に香港のメディア等を招へいし、県内観光地等の発信を依頼

○小松・香港便を活用した香港からの団体ツアーも開始

記念式典

日時：令和7年4月24日 19:45～

場所：小松空港国際線出発ロビー 内容：主催者・航空会社挨拶、テープカット

※このほか、初便到着客を「ひやくまんさん」「はぴりゅう(福井県)」「カブッキー(小松市)」がお出迎え

小松・香港便の概要

・週3往復(月・木・土)

・使用機材：A320neo(188席)

メディア等招へい

参加予定：香港メディア3社、インフルエンサー2名

取材予定箇所：兼六園、加賀温泉、和倉温泉、ひがし茶屋街など

団体ツアー

EGLツアーズ(香港の旅行会社)が実施する団体ツアー(4泊5日)

行程：香港⇒中部国際空港(名古屋)→高山・上高地・黒部・白川郷・兼六園等→小松空港⇒香港

4～6月中に21回(予定)



空港企画課 076(225)1337
国際観光課 076(225)1128

更なる利用促進に向け、インバウンド・アウトバウンド双方の取り組みを推進

ゴールデンウィークまでの道路の復旧状況



ゴールデンウィークまでに、能登半島地震と奥能登豪雨により大規模に被災した**外浦沿岸部の道路**のうち、**2箇所**の通行止めを解除し、道の駅「千枚田ポケットパーク」も営業再開

②道の駅「千枚田ポケットパーク」

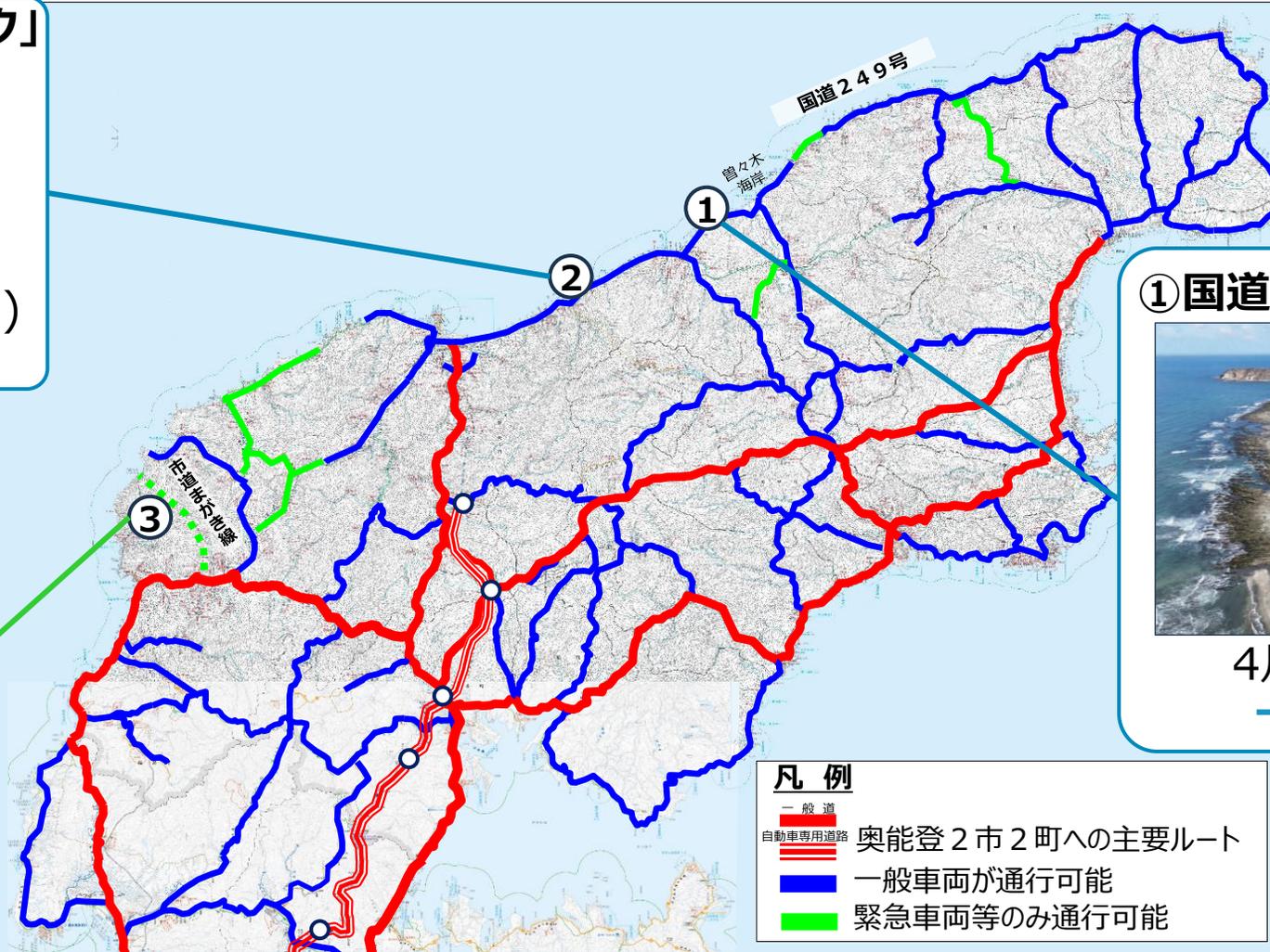


4月26日(土)～5月6日(火)
営業再開

③市道まがき線 【おさよトンネル】



4月25日(金)10時～
緊急車両等のみ**通行可能**



道路建設課
076(225)1721
道路整備課
076(225)1726

①国道249号【大川浜工区】



4月25日(金)13時～
一般車両通行可能

凡例

- 一般道
- 自動車専用道路
- 奥能登2市2町への主要ルート
- 一般車両が通行可能
- 緊急車両等のみ通行可能

県内主要温泉地のGW期間中の予約状況



○県内温泉地のGW予約状況（4/26(土)～5/6（火祝）） ※石川県文化観光スポーツ部調べ 4月22日現在

	GW前半 (4/26～4/29) 飛び石連休	GW後半 (5/3～5/6) 四連休
主要5温泉地 客室稼働率 (山中、山代、片山津、粟津、湯涌)	5割程度	8割程度

○列車のGW予約状況（4/25(金)～5/6(火祝)）
(西日本旅客鉄道株式会社 4月10日発表)

○航空便のGW予約状況（4/26(土)～5/6（火祝））
(日本航空北陸支店、全日本空輸金沢支店 4月18日発表)

	予約席数	前年比
北陸新幹線 (かがやき・はくたか)	155.3千席	105%
サンダーバード号	66.0千席	113%
しらさぎ号	8.2千席	99%
3方面合計	229.5千席	107%

	予約席数	前年比
小松－羽田便	23,148席	98%
(日本航空)	13,031席	98%
(全日本空輸)	10,117席	97%
能登－羽田便 <small>往復1便/日(昨年) → 往復2便/日(現在)</small>	3,215席	199%

GWの前半の温泉地にはまだ空きがあります。是非ご利用ください。